

---

---

# 21世紀型地域コミュニティ の実現に向けて

—— 東中野五丁目小滝町会のアセスメント調査を通して ——

津田塾大学総合政策学部2年 菊田葵 星屋利安

---

---

## アウトライン

- ・ アセスメント訪問のねらい（目的と成果）
- ・ 東中野五丁目小滝町会の概要
- ・ プロボノ支援（マーケティング調査、パンフレット作成）
- ・ 町会・自治体が抱える課題
- ・ 小滝町会による課題へのアプローチ
- ・ 「21世紀型地域コミュニティ」とは
- ・ アセスメント訪問を踏まえた考察

# アセスメント訪問の目的・成果

2019年8月 5団体訪問

- ・めじろ台安心ねっと
- ・めじろ台町会連絡協議会
- ・若年性認知症家族会 彩星の会
- ・東中野キングス・ガーデン
- ・東中野小滝町会 様

プロボノ支援後の進捗取材

調査報告を作成し、東京ホームタウン  
プロジェクトHPに記載

2019.08.07

## 【支援のその後】

これまでも主に子ども向けに積極的な活動をされてきた東中野五丁目小滝町会でしたが、プロボノによるマーケティング調査によって他の年

齢層を対象とした活動の可能性に気づくことができましたと言います。また、広報の仕方を変えたことで地域の住民にとってより開かれた町会が実現できました。町会長の岸さんは「現在の町会を言葉や記憶として残すことで次の世代へつなげたい」と話します。住民の皆さんに地域づくりに参加する面白さを感じてもらうことで自発的な地域コミュニティを作り、楽しい街の将来像を共有してもらうことが今後の目標だそうです。

[2019年8月、津田塾大学 森川ゼミ・伊藤(由)ゼミの協力により取材]



## 東中野五丁目小滝町会の概要

旧東中野小学校の廃校(2008年)がきっかけで

地域の危機意識が高まり、活動が活発化

町会の加入率 80%



旧東中野小学校跡地に新築された東中野区  
区民活動センター

加入率と実際の参加率のギャップ (100~150人)

無関心層の広がり

今後の運営費の収集方法

メリットが伝わりにくいため、住民にどうアプローチするか

# プロボノの支援内容 (2016年8月～2017年1月)

## 1. マーケティング調査

- ・ 小滝町住民にアンケート調査実施
- ・ 150/1000 サンプル回収
- ・ 「町会はそもそも必要か」
- ・ 大人という新たなターゲット層の発掘
  - └ 生け花教室やラジオ体操、ウォーキング

東中野五丁目小滝町会HP：  
<https://otakishi.jimdofree.com>

東中野五丁目小滝町会が、  
生まれ変わります！？

これからの町会を考えて、  
現在、NPO法人サービスグラントと協働して、町内活動の活性化に向け、  
アンケートなどを通して、今後の町会や町会活動のあり方などの検討を進めています。

そもそも町内会って何？  
どんなことをしているの？  
町内活動なんて面倒くさそう。

まずは皆様の率直な意見を聞かせて下さい！

**アンケートにご協力ください！** (11/9水まで)

～あなたの声が、これからの新しい町内会を創っていきます～

- アンケートは、  
東中野五丁目小滝町会の  
ホームページからできます

東中野五丁目 小滝町会 検索

<http://otakishi.jimdo.com/>



# プロボノの支援内容(2018年11月～2019年3月)

## 2. パンフレット作成

- ・ プロボノスタッフと共に団体紹介パンフレットを作成
- ・ 全2800世帯に加えて講演会でも配布予定
- ・ パンフレットの全体の出来には満足したものの、より良くしたいという思いからインタビュー時点（2019年8月）では修正段階
- ・ より効果を上げるために、修正作業に加えてホームページの更新とパンフレットの先行配布を同時期に行うことを考えていた

## 5 団体へのアセスメント訪問を通じて感じた 町会・自治会が抱える課題

1. 町会へ自発的な参加をする人材の不足
2. 若い世代の加入率の低さ
3. 現役の活動メンバーの固定化・高齢化
4. 都市部では、人々は同じ地域に住んでいても生活スタイルがバラバラ
5. SNSの普及により、プライベートでの人とのつながりはネット寄りに
6. 情報発信の方法が限られている（掲示板・回覧板）
7. 町会費の集め方と恩恵の行き渡らせ方

# 小滝町会による課題へのアプローチ

- ・ 子供向けのアクティビティを得意としており、お祭り・餅つき・体験イベントなどを4ヶ月に1度程度の頻度で開催
- ・ JRの地域コミュニティの活動を紹介するラジオ番組で宣伝  
→主要メンバーが一人増えた
- ・ 駅前にイベントのポスターを設置  
→新規の参加者を獲得している
- ・ HPでの宣伝を活発化

主催：東中野五丁目小滝町会

## おもちつき大会

地域交流イベント

求む！  
つき手、  
大人も子ども  
大歓迎！！

お問い合わせ  
東中野区民活動センター運営委員会  
マダム専用  
tel:03-3364-6795  
mail: makano\_higashi@jmail.ocn.ne.jp



3月1日(日)  
おかのうえ公園  
東中野 5-27-5  
東中野区民活動センターとなり

もちつき 開始 午前9時頃～  
もち販売 10時頃～ 餅がなくなり次第終了！  
1パック100円(ゴマ、きな粉、あんこの3個入り)  
※数に限りがありますので、お1人5パックまでとさせていただきます。

この催しは「中野区社会福祉協議会歳末たすけあい募金地域福祉活動」の助成により実施しています。

2020年3月1日開催予定のお餅つき大会のチラシ  
東中野五丁目小滝町会HP：<https://otakishi.jimdofree.com>



# 小滝町会による課題へのアプローチ

- ・ お祭りの際に参加費の徴収や募金箱の設置といった策を検討中  
→ 会費から各イベントの参加費という形へ  
活動の恩恵を公平に行き渡らせる方法を模索
- ・ HPの更新頻度を上げることで活動内容を見せる努力  
→ 住民にとってより開かれた町会を

地域づくりに参加する面白さ・街に対する帰属意識を感じてもらうことで、  
自発的な地域コミュニティを作り、楽しい町の将来像を共有することを目指している



2018年9月15,16日のイベント  
「おみこしわっしょい」での神輿  
東中野五丁目小滝町会HP：  
<https://otakishi.jimdofree.com>

## 理想とする「21世紀型地域コミュニティ」とは



1. メンバーの固定化 ↔ SNSの活用による新規参加者層の獲得
2. メンバーの高齢化 ↔ 若者との関わりを増やす
3. 町会の存在意義が希薄化 ↔ 地域と行政の連携
4. 地域内の交流が少ない ↔ セーフティネットとして機能

# 1. SNSの活用



- ・ SNSアカウントの開設と情報発信  
例：ご近所SNS「マチマチ」地域団体の情報を共有するコミュニティ機能を提供  
<<https://machimachi.com>>
- ・ 参加者との連絡ツールとして活用
- ・ Web会議の導入 場所に関わらずにミーティングが可能



SNSを活用することで住民にとってのハードルを下げ、

より気軽に地域活動に参加することができることを目的とする

## 2. 若者との関わり

### 1. 学園祭での連携

例) 学園祭の中にイベントブースを構える、広報を担うことで地域住民へ周知

### 2. 高校・大学の授業の一環として単位にする

例) 地域内の中学校・高校にお祭りなどのイベントの際に参加してもらう



**地域活動への参加が幼少期よりも薄れていく世代に参加してもらうことで、将来も積極的な地域活動への参加を促せる**

### 3. 地域と行政の連携

- ・ 行政からの業務委託 （例：行政のイベント参加申し込みの代行）
- ・ 行政からのお知らせ発信を担う
- ・ 行政にも自治体・町会の地域活動をHP、区報、市報などで宣伝してもらう



地域と行政が密接に連携することで、地域住民と行政のパイプ役を担いつつ互いの長所を活かしながら活動を継続していく

## 4. セーフティネットとして機能

- ・ 防災訓練 災害時の被害を減らす
- ・ 地域全体で行う高齢者・子供の見守り
- ・ 犯罪防止 地域の目があることで犯罪の抑止力となる



災害時に助け合える関係性の構築、独居老人の孤独死の防止、  
共働き世帯が子育てをしやすいつ感じられるなど、より安心・安全な町へ

# 総括

1. 町会は今後なくなっていくものだと思っていた

⇒町会ならではの機能があり、持続する仕組みが必要だと気づけた

2. 地域のイベントに参加する機会が子供時代よりも失われていた

⇒広報・メンバー集め・集金など、どれも苦労と工夫の連続だと改めて知った

3. 若者は学業などで忙しく、地域活動への参加は難しいと思っていた

⇒学園祭と地域活動（例：神社のお祭り）で互いに手を組めば集客に繋がる